



創エネ・省エネ設備の設置

太陽光補助対象出力
上限なし

家庭と地球の未来のために。今こそ創エネ・省エネ！

例えば、太陽光発電システム (4 kW) を設置すると年間……
● およそ10万円 (売電7万円, 電気代削減3万円) を節約できます!
● 家庭での電力消費から排出される二酸化炭素の約88%を削減できます!

注) 年間発電量 4,000 kWh で発電した場合の本市試算

太陽光発電システム、蓄電システムは、災害等での停電時に非常用電源にもなります。

すまいの創エネ・省エネ応援事業 詳細は、京都市情報館内の本事業のホームページをご覧ください。

対象者 京都市内の
・戸建住宅の所有者又は居住者
・賃貸マンションの居住者又は所有者
・分譲マンションの管理組合又は区分所有者
・集会所に設置する自治会

申請期間	交付申請	2019年4月8日(月)～予算額に達した時点で受付終了
	完了報告	対象設備の設置日の翌日から60日以内に提出してください。必着 上記期限を超過していない場合でも、2020年3月15日(日)まで

申請の流れ 設備設置工事完了までに交付申請が必要です。



注意 工事請負契約前に予算の残額等を十分にご確認ください。
景観手続が必要な場合は、対象設備の工事着手前に完了してください。

対象設備・補助金額 契約の締結日が平成31年4月1日(月)以降のものが対象

〔戸建住宅に対象設備を設置する場合〕

対象設備	補助金額	工事価格の目安(税込, 本市試算)
太陽光発電システム 全量売電は対象外 (エネファームを同時に設置する場合、4万円/件加算)	最大出力1kW当たり2万円(上限なし)	およそ130万円(4kW設置時)
太陽熱利用システムと同時に設置する場合 省エネ・耐震リフォームと同時に行う場合	最大出力1kW当たり4万円(上限なし)	
蓄電システムと同時に設置する場合	最大出力1kW当たり4万円(上限なし) (4kWまで最大出力1kW当たりさらに1万円加算※1)	
蓄電システム 太陽光発電システムと同時に設置する場合のみ	蓄電容量1kWh当たり3万円(上限6kWh)※1	およそ120万円(6kWh設置時)
HEMS (家庭用エネルギー管理システム)	2万円※2	およそ15万円
太陽熱利用システム	強制循環型 10万円※3 自然循環型 5万円※3	およそ110万円(強制循環, 集熱面積4㎡)

※1 京都市が4月以降に発表する予算と期間を超えない範囲で補助又は加算する。

※2 京都府の補助金との併用可

※3 補助対象の太陽光発電システムと同時に申請する場合は補助金額を3倍に増額, 省エネ・耐震リフォームと同時に行う場合, 補助金額を2倍に増額。

注) 賃貸マンションの共有部分に使用する場合や分譲マンションの管理組合, 集会所に設置する自治会の場合の補助金額や上限は, お問い合わせください。

2019年度
京都市にお住まいの皆様, 住まいをお持ちの皆様へ

すまいの補助金のご案内

補助金は,
予算がなくなり次第,
終了します!

耐震リフォーム, 省エネリフォーム,
創エネ・省エネ設備の設置を
サポートします。

申請は
お早めに!!

耐震マン

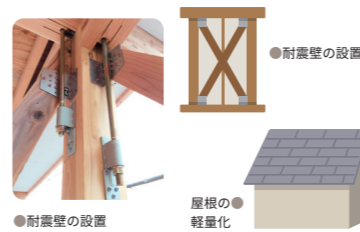
京都市の環境マスコット
エコちゃん

耐震 リフォーム

木造住宅
150万円! 最大

京町家はさらに補助額アップ!

屋根の軽量化や
耐震壁の設置など



→ 詳しくは, p2「耐震・防火リフォーム」へ

省エネ リフォーム

50万円! 最大

窓の断熱改修や
高断熱浴槽の設置など



→ 詳しくは, p3「省エネリフォーム」へ

国の「次世代住宅ポイント制度」が始まっています。
10/1から重複する補助メニューの受付を休止する予定です。

創エネ・ 省エネ設備

太陽光(4kW) ●蓄電(6kWh)
●HEMSを同時に申請の場合
40万円! 活用例

太陽光発電や
蓄電池など

太陽光発電システムを設置される方への上限は設けておりません。設置される最大出力に応じ, 補助金額が決定します。

また, 蓄電システムを同時設置される方や, 本市の耐震リフォーム及び省エネリフォーム補助金を利用の方には, 補助金を増額します。

→ 詳しくは, p4「創エネ・省エネ設備の設置」へ

ご相談はこちらまで, お気軽に!

京(みやこ)安心すまいセンター
耐震・エコ助成ホットライン

☎075-744-1631

〈申請窓口〉〒604-8186 京都市中京区烏丸御池東南角アーバネックス御池ビル西館4階
〈開館時間〉午前9時30分～午後5時(水曜日, 祝日, 年末年始(12月29日～1月3日)を除く)
〈申請受付時間〉午前9時30分～午前11時30分, 午後1時～午後4時30分

「京安心すまいセンター」
で検索

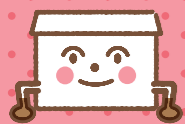


●市営地下鉄「烏丸御池」駅
3番出口すぐ



この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入を活用しています
(既存住宅の省エネリフォーム支援事業, すまいの創エネ・省エネ応援事業)





耐震リフォーム

補助金
木造住宅最大 **150万円!**
京町家は更に補助額アップ

できるところからすまいの耐震化を!

阪神・淡路大震災における死亡原因の8割以上が、**建物や家具の倒壊**における窒息死・圧死でした。

リフォームに併せて、**耐震性が確実に向上する改修工事**を行うことで、できるところから**すまいの耐震化**を行いましょ!



まちの匠の知恵を活かした京都型耐震・防火リフォーム支援事業

詳細は、京安心すまいセンター・各区役所等に配架のリーフレットや、京都市情報館内の本事業のホームページをご覧ください。

申請対象 市内の昭和56年以前の木造住宅（一戸建ての住宅、長屋又は共同住宅）の所有者又は居住者（予定を含む。）

注）市内事業者が元請負人又は下請負人として補助対象工事を施工する必要があります（「本格的な耐震改修」及び「簡易な耐震改修」の「耐震シェルターの設置」を除く。）

注）居住部分の床面積が延べ面積の1/2以上のもの。

申請期間 2019年4月8日(月)～2020年3月2日(月) **必着**

注）予算額に達した場合は、期間内でも受付を終了します。

手続の流れ



注）必ず工事契約・着工前に交付申請を行ってください。

補助対象となる工事のメニュー

耐震改修（メニュー①～③はいずれか一つを利用できます。）

メニュー番号	木造住宅			京町家等					
	工事内容	耐震診断・耐震改修設計(※2)	補助限度額	工事内容	耐震診断・耐震改修設計(※2)	補助限度額			
本格的な耐震改修(※1)	① 現在の耐震基準に適合する工事	○	100万円	現在の耐震基準に適合する工事	○	120～300万円(※3,4)			
	② 一定以上の耐震性能を確保する工事	○	50万円	一定以上の耐震性能を確保する工事	○	60万円			
簡易な耐震改修(※1)	③ (7) 壁の設置や屋根の軽量化により耐震性能が従前よりも向上する工事	△(※5)	30万円	(7) 壁の設置や屋根の軽量化により耐震性能が従前よりも向上する工事	△(※5)	30万円			
	(イ) 屋根構面等の水平構面の強化	—	10万円				(イ) 屋根構面等の水平構面の強化	—	10万円
	(ウ) 根継ぎ等による土台又は柱等の劣化修繕	—	20万円				(ウ) 根継ぎ等による土台又は柱等の劣化修繕	—	20万円
	(エ) 有筋の基礎の増設	—	15万円				(エ) 礎石等の基礎の補修	—	20万円
	(オ) 耐震シェルターの設置	—	30万円				(オ) 土壁の修繕	—	40万円
				(カ) 柱脚部への足固め、根がらみの設置	—	10万円			
				(キ) 耐震シェルターの設置	—	30万円			

※1 長屋の場合、住戸ごとに補助限度額を適用します（一棟当たりの上限有り）。

※2 「○」がついているメニューは耐震診断及び耐震改修設計が必要です。

※3 メニュー①を利用する場合、延べ面積が120㎡を超えるものは、補助限度額を超過部分1㎡あたり1万円引き上げます（引き上げ後最大300万円）。

※4 景観重要建造物等は40万円加算。

※5 原則、耐震診断が必要ですが、屋根の軽量化については耐震診断なしで利用できます（その場合、補助限度額は20万円）。

防火改修

メニュー番号	工事の内容	補助限度額
防火改修	④ (7) 軒裏の防火改修工事	20万円
	(イ) 開口部の防火改修工事	1.5万円/㎡
	(ウ) 長屋の界壁の防火改修工事	20万円
	(エ) 外壁の防火改修工事	20万円
	(オ) 感震ブレーカーの設置工事	5万円

「防火改修」は密集市街地を中心とした市が定める区域が助成対象です。（詳しい区域は、本事業のホームページをご覧ください。）

組み合わせると50万円（京町家等は、60万円）



省エネルギーリフォーム

補助金
最大 **50万円!**

省エネルギーリフォームは家計にも健康にもやさしい!

家計にやさしい!

住宅の消費エネルギーを削減し、環境にやさしい省エネルギーリフォームは、「**光熱費の削減**」にもつながります!

例：窓を全て二重窓にした場合、10年間で光熱費を**約20万円(2万円/年)**も削減!*

※ 120㎡程度の木造一戸建ての住宅を想定した市の試算による。



健康にやさしい!

省エネルギーリフォームで室内の温度差を小さくすることで、**ヒートショック***の発生を抑えることができます!

※ヒートショックとは、急激な温度変化により血圧が急変する現象を指し、心筋梗塞や脳卒中を引き起こす原因となります。

また、適切に断熱改修を行うことで、室内の結露も抑えることができ、**結露によるカビの発生を防ぐ**ことにもつながります!



既存住宅の省エネルギーリフォーム支援事業

詳細は、京都市情報館内の本事業のホームページをご覧ください。

申請対象 市内の住宅（一戸建ての住宅、長屋、マンション、アパート等の住戸部分）の所有者又は居住者（予定を含む。）

注）市内事業者が元請負人又は下請負人として補助対象工事を施工する必要があります。

注）居住部分の床面積が延べ面積の1/2以上のもの。

申請期間 工事対象メニュー① 2019年4月8日(月)～2019年9月30日(月) **必着**

工事対象メニュー② 2019年4月8日(月)～2020年3月27日(金) **必着**

注）予算額に達した場合は、期間内でも受付を終了します。

10月1日以降は国の「次世代住宅ポイント制度」を御利用下さい。
※ 10月1日以降は工事対象メニュー(下表①)の受付を休止する予定です。

手続の流れ



注）必ず工事契約・着工前に交付申請を行ってください。

工事対象メニュー

対象工事	補助金額(最大)	対象工事	補助金額(最大)	
①	窓の断熱改修(内窓設置, 外窓交換)	1万8千円/箇所	窓の断熱改修(ガラス交換)	7千円/枚
	外壁への断熱材設置	10万円/式※1	屋根への断熱材設置	10万円/式
	床への断熱材設置※2	5万円/式	天井への断熱材設置	3万円/式
	ドアの断熱改修	3万円/箇所	高断熱浴槽の設置	2万円/式
	内装の左官工事(オプション工事)※3	2万円/式	浴室の断熱化(オプション工事)※4	1万円/式
②	屋根・外壁の遮熱塗装等	各3万円/式	内装断熱パネルの設置(壁, 床, 天井)	各5万円/式
	窓の遮熱フィルム又は遮熱塗装	2千円/箇所	庇の設置	8千円/箇所

※1 外部から土壁に断熱材を設置する場合は、最大20万円/式となります。

※2 一定の断熱性能を持つ畳についても補助の対象となる場合がありますので、窓口までご相談ください。

※3 オプション工事のみでは補助の対象になりません。ほかのメニューと併せて申請してください。

※4 浴室において、高断熱浴槽の設置に併せて窓の断熱改修を申請する場合、1万円加算します。

利用者の声 ～省エネルギーリフォームにより、多くの方が快適になったと感じています。～

- 床や壁に断熱材を入れたおかげで、古い家でも暑さ、寒さが厳しくなく快適に過ごせています。
- 窓を二重にしたことで**冬場の寒さがぜんぜん違います**。暖房も少し入れるだけで、長時間暖かさが持続すると思いました。
- 冷房は、続き間だと1部屋だけですむようになりました。**結露や騒音が少なくなりました**。
- 空き家をリフォームして住んでいますが、以前の住宅よりも**電気代が安くなりました**。